

出生届

届書を提出する日

令和△年○月□日届出

静岡県富士市長

受理 令和 年 月 日	発送 令和 年 月 日
第 号	第 号
送付 令和 年 月 日	長印
第 号	
書類調査	通知

ここには何も書かないでください

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

子が生まれた日からかぞえて14日以内に出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、かな、ひらがなで書いてください。

子が外国人のときは、原則かなで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。

よみかたは、戸籍には記載されません。住民票の処理上必要ですから書いてください。

□には、あてはまるものに○のようにするしをつけてください。

産院などの所在地(病院名はいりません)

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

生まれた日が令和2年4月1日～令和3年3月31日の場合は、この欄も記入してください。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくられますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届出人は、原則として子の父または母です。(戸籍法第52条)届出人が署名押印したあと届書を持参の方は親族、その他の方でもかまいません。

母子健康手帳と届出人の印をご持参ください。

国民健康保険被保険者証(加入者のみ)をご持参ください。

出生証明書

子の氏名	男女の別	1男 2女	記入の注意
生まれたとき	令和 年 月 日	午前 時 分 午後 時 分	
出生したところ及びその種別	出生したところの種別	出生したところの種別	夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。
出生したところ及びその種別	出生したところの種別	出生したところの種別	
出生したところ及びその種別	出生したところの種別	出生したところの種別	体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。
出生したところ及びその種別	出生したところの種別	出生したところの種別	
体重及び身長	体重	身長	この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。
体重及び身長	体重	身長	
単胎・多胎の別	1単胎	多胎(子中第 子)	この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように、2,3の順序に従って書いてください。
単胎・多胎の別	1単胎	多胎(子中第 子)	
母の氏名	妊娠週数	満 週 日	この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように、2,3の順序に従って書いてください。
母の氏名	妊娠週数	満 週 日	
この母の出産した子の数	出生子(この出生子及び出生後死亡した子を含む)	死産児(妊娠週22週以後)	この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように、2,3の順序に従って書いてください。
この母の出産した子の数	出生子(この出生子及び出生後死亡した子を含む)	死産児(妊娠週22週以後)	
1. 医師	2. 助産師	3. その他	この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように、2,3の順序に従って書いてください。
1. 医師	2. 助産師	3. その他	

医師・助産師等が記入します

朱線部訂正 訂正印

※消えるボールペンで書かないでください。読みやすい字ではっきりと書いてください。

(1) 子の氏名	ふじ 富士	いちた 一太	父母との続き柄	<input checked="" type="checkbox"/> 嫡出子 (長 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女)
(2) 生まれたとき	令和 △年 ○月 ☆日	<input checked="" type="checkbox"/> 午前 10時 15分	<input type="checkbox"/> 午後	
(3) 生まれたところ	静岡県 富士市 高島町50	番地 号		
(4) 住所	静岡県 富士市 米之宮町288	番地 号		
(5) 父母の氏名	父 富士 太郎	母 富士 花子		
(6) 本籍	静岡県 富士市 永田町1丁目100	番地 号		
(7) 同居を始めたとき	平成 30年 6月	(結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)		
(8) 子が生まれたときの世帯のおもな仕事	<input checked="" type="checkbox"/> 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自営業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤務者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の従業員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 <small>(国勢調査の年…令和 年…の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください)</small>			
(9) 父母の職業	父の職業	母の職業		
その他				
届出人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 父母 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人 () <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産師 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長			
住所	(4) 欄に同じ			
本籍	(6) 欄に同じ			
署名	富士 太郎	昭和 2年 1月 10日生		
事件簿番号	日中連絡のつきやすい番号を入れてください 連絡先 電話 1234(56) 7890 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 []・携帯			